

取扱説明書

ITEM No.2396 デッドニングキット オールインワンモデル

セット内容

	品名	材質	サイズ	入数
インナーパネル用	インナーパネル用制振シート	基材:アルミニウム 粘着剤:特殊ゴム系粘着剤	約500×450mm 厚さ 約1.5mm	3
	防音テープ	基材:合成ゴム (EPDM) 粘着剤:合成樹脂系粘着剤	約30mm×1m 厚さ 約5mm	2
	スピーカー用防音テープ	基材:合成ゴム (EPDM) 粘着剤:合成樹脂系粘着剤	約20×600mm 厚さ 約30mm	2
アウターパネル用	ポイント制振材	基材:アルミニウム 粘着剤:特殊ゴム系粘着剤	約50×100mm 厚さ 約2mm	10
	ヒートレジスタンス制振シート	基材:アルミニウム 粘着剤:特殊ゴム系粘着剤	約500×550mm 厚さ 約1.6mm	1
	アウターパネル用吸音シート	基材:ウレタンフォーム 粘着剤:合成樹脂系粘着剤	約500×300mm 厚さ 約15mm	1
サポートツール	インパクトビーム用制振シート	基材:アルミニウム 粘着剤:特殊ゴム系粘着剤	約60×250mm 厚さ 約2mm	4
	スピーカー背面制振吸音材	制振材:特殊ゴム系粘着剤 防音材:ポリエチレン発泡体 吸音材:ウレタンフォーム	約180×180mm 厚さ 約25mm	2
	制振シート圧着用ヘラ	材質:ポリプロピレン	全長約170mm	1
サポートツール	プチルはがし用ヘラ	材質:ポリアセタール	全長約160mm	1
	内張りはがし	材質:ポリアセタール	全長約300mm	1
	ハーネスカブラーはがし	材質:エラストマー		1
	クリーンナップシート	含有液:エタノール70%・蒸留水30% 材質:不織布 (ポリエステル・レーヨン)	約150×200mm	8
	作業グローブ	材質:ナイロン・ポリウレタンコーティング		1
	サービスホール型取りシート	材質:ポリプロピレン	約500×500mm 厚さ 約0.2mm	3
	オリジナルチェックCD			1

作業前に用意するもの

・ウエス ・定規 ・ハサミ ・マスキングテープ ・ドライバー ・油性マジック
※一部車両はスピーカーを外すときに電動ドリルやニッパーが必要です。

コシがあると便利! 面倒なプチル処理の作業をカンタンにできるアイテム

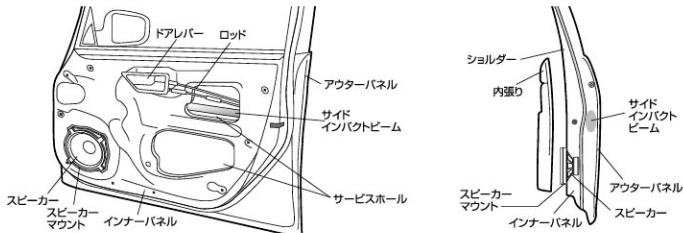
■ITEM No.2187 プチルクリーナーキット **別売**

プチルゴムがキレイに取り除ける
とにかくキレイにプチルゴムを処理したい!

■ITEM No.2385 プチル処理テープ **別売**

プチルゴムの上から貼るだけ!!
作業時間を短縮したい人にオススメ!

各部名称



作業を始める前に

- この取扱説明書をよく読んでから作業してください。
 - 取り付けの車種や取り付け状態により効果異なります。
 - イラストは取り付けイメージです。車種により取り付け方法は異なります。
 - 安全のため、長袖・手袋を着用して作業してください。
 - 本製品をカットして使用する場合は、切り口で手を切らないように注意してください。
 - ドアサービスホールの縁や部品の先端は鋭利になっている場合があります。ケガのないように注意して作業してください。
 - 確実に施工するために、気温が10℃以下の場合は、ドライヤーなどで本製品と貼る箇所を十分に温めてから使用してください。
 - 接着方法・接着位置によって接着強度が弱くなる場合があります。
 - 粘着面に触れたり、再接着をしないでください。粘着力が低下します。
 - 内張りピンなどに使用する穴には貼らないでください。
 - 車種により内張りピンやビスの位置は異なります。充分注意して作業してください。
 - パワーウィンドウ・ドアロックなどの機能を妨げるような箇所には貼り付けしないでください。
 - 本製品は自動車用です。自動車以外には使用しないでください。
 - 付属のオリジナルチェックCDは音楽計画のデッドニングキットオールインワンモデル専用です。用途以外での使用はしないでください。
 - 付属のオリジナルチェックCDは営利目的での使用・個人的な範囲を超える使用目的での複製を禁じます。
- ※本製品を改造して使用されたり指定箇所以外で使用された場合の事故について、当社は一切責任を負いません。
※取り付け箇所周辺などの経年変化による劣化について、当社は一切責任を負いません。
※仕様および外観は予告なく変更する場合があります。

作業手順にしたがって、ケガのないように作業してください。

Start Up 施工の前に

作業をはじめの前に、付属のオリジナルチェックCDを再生してください。
チェックCDの再生時、まず音量調整をおこないます。必ずトラック1から再生し、スピーカーの音が歪まない音量で再生してください。

スピーカーの音が歪んだ状態で再生を続けると機器の破損につながりますので注意してください。ボリュームの上げすぎによるスピーカーの損傷について、当社は一切責任を負いません。

■トラック4～6にはスピーカー周辺のインナーパネルなどの振動・ビビリなどがチェックできる低音信号が収録されています。施工前の音やビビリの状況を確認してください。

■トラック7～9の音楽信号は音質チェックに便利さまざまな楽器のサンプル音源が収録されています。施工前の音の響きや低音の深み・量感を確認してください。

Step1 デッドニングの準備

1 ドアの内張りを外す 2 スピーカーを外す 3 ドアの前処理をおこなう

1 ドアの内張りを外す

※車種により内張りの外し方は異なります。車種別の詳しい外し方は、ディーラーなどで確認してください。

1 ネイルカバナー

内張りを固定しているネジを外す
窓ガラスを閉め、ドアノブ付近に隠しネジがある場合は外します。

2

ドアミラー裏のカバナーを外す
付属の内張りはがしでカバナーを外してください。
(装着されていない車種もあります。)

3

内張りピンを探す
付属の内張りはがしをインナーパネルと内張りの間にさし込み、スライドさせて「コソッ」とあたる部分を探します。

4

内張りピンを外す
「コソッ」とあたる部分で内張りはがしを起こすように回転させ、内張りピンを外してください。

5

内張りを外す
内張りの下部を持ち上げ、手前に引いて上部を外します。
※初めて内張りを外す場合、非常に固く外しにくいことがあります。

6

開閉ワイヤーや集中ドアロックのカブラーなどを外す
ドアの開閉ワイヤーや集中ドアロックのカブラーなどを外してください。

サポートツール ハーネスカブラーはがし

ロックを解除しながら

カブラーを抜く

使用方法

1. 本製品の穴から爪が見えるように親指に装着してください。
2. 本製品の凸部で純正カブラーのロック部を押し込みながらカブラーを引き抜いてください。

※両サイドにロック部分があるカブラー・2段階で解除するカブラーには使用できません。
※ネイル・つけ爪をしたまま使用しないでください。
※サイズが合わない場合は無理に使用しないでください。
※ロックが解除されていない状態で無理にカブラーを抜かないでください。

2 スピーカーを外す

1

POINT スピーカーがリベット留めされている場合

電動ドリルを使って外す。ニッパーを使って外す。

スピーカー・スピーカーマウントを取り外し、接続されているコネクタも外してください。

⚠️ 純正スピーカーをそのまま使用する場合、外したリベットは再使用できません。別売のボルトなどでスピーカーを固定してください。

3 ドアの前処理をおこなう

1

サポートツール プチルはがし用ヘラ

平面部の作業に適した形状
溝など細かい部分の作業に適した形状

2

3

残ったプチルゴムは別売のプチルクリーナーキットで取り除くか、別売のプチル処理テープを上から貼ってください。

付属のクリーンナップシートでインナーパネル・アウターパネルの油分・水分・汚れを十分に拭き取ってください。

Step2 アウターパネルのデッドニング

1 スピーカー背面制振吸音材を貼り付ける 2 ヒートレジスタンス制振シートを貼り付ける
3 インパクトビーム用制振シートを貼り付ける 4 アウターパネル用吸音シートを貼り付ける

- 圧着が不十分な場合、制振シートがはがれる可能性があります。付属の制振シート圧着用ヘラで過度の負荷がかからない程度にしっかりと圧着してください。
- 気温が10℃以下では接着力が低下します。やけどに注意し、ドライヤーなどで粘着面と貼る箇所を温めてください。
- アウターパネル等部分の水分がたまると、貼り付け箇所には貼け付けないでください。
- 窓ガラスを下げたときに干渉する箇所には貼り付けしないでください。
- パワーウィンドウ・ドアロックなどの機能を妨げるような箇所には貼り付けしないでください。

1 スピーカー背面制振吸音材を貼り付ける

1

リキエ紙をはがし、スピーカー背面に充分圧着して貼り付けてください。

POINT

取り付け箇所はサイドインパクトビームなどの障害物がある場合は、スピーカー背面制振吸音材をカットして貼り付けてください。

2 アウターパネルにヒートレジスタンス制振シートを貼り付ける

1 ヒートレジスタンス制振シートをサイドインパクトビームに貼る。カット目安は50cm x 29cm。ドア1枚につき2枚貼る。※サイドインパクトビームや障害物は避けて貼り付けてください。

2 カットしたヒートレジスタンス制振シートをドア1枚につき2枚を均等に貼り付けてください。※サイドインパクトビームや障害物は避けて貼り付けてください。

3 貼り付けたヒートレジスタンス制振シートを付属の制振シート圧着用ヘラでしっかりと圧着してください。

カット目安を参考にヒートレジスタンス制振シートをカットしてください。

3 インパクトビームにインパクトビーム用制振シートを貼り付ける

1 インパクトビーム用制振シートをアウターパネルに貼る。純正で充填されている接合部を避けて貼ると効果的。インパクトビームに巻き付けるように施工する。施工箇所断面図はインパクトビーム用制振シートとサイドインパクトビーム、アウターパネルの接合部を示している。

2 貼り付けたインパクトビーム用制振シートは付属の制振シート圧着用ヘラでしっかりと圧着してください。

POINT 純正で充填されている接合部を避けて貼ると効果的。インパクトビームに巻き付けるように施工する。施工箇所断面図はインパクトビーム用制振シートとサイドインパクトビーム、アウターパネルの接合部を示している。

ドア1枚につき2枚のインパクトビーム用制振シートを貼り付けてください。

4 ヒートレジスタンス制振シートの上にアウターパネル用吸音シートを貼り付ける

1 アウターパネル用吸音シートをヒートレジスタンス制振シートより小さくカットしてください。

2 2で貼ったヒートレジスタンス制振シートの上にアウターパネル用吸音シートを貼り付けてください。

注意 ●必ずヒートレジスタンス制振シートからはみ出ないように貼ってください。●サイドインパクトビームは避けてください。

Step3 インナーパネルのデッドニング

- 1 ドアのワイヤーロッド周辺の処理
- 2 インナーパネル用制振シートを貼り付ける
- 3 防音テープを貼り付ける
- 4 スピーカーを戻し、スピーカー用防音テープを貼り付ける

注意 ●高温下や圧着が不十分な場合、制振シートがはがれる可能性があります。付属の制振シート圧着用ヘラで過度の負荷がかからない程度にしっかりと圧着してください。●気温が10℃以下では接着力が低下します。やけどに注意し、ドライヤーなどで粘着面を貼る箇所を温めてください。●パワーウィンドウ・ドアロックなどの機能を妨げるような箇所には貼り付けてください。●内張りピン・ビス固定部などの穴には貼り付けてください。●内張りを戻した時に、はみ出さないように貼り付けてください。●サービスホール付近の制振シートの圧着は、破れないように注意してください。

1 ドアのワイヤーロッド周辺の処理をおこなう

ロッドタイプの場合 ロッドが平行に移動するところ。制振シートを貼る。別売の配線チューブをロッドに挿入する。インナーパネル用制振シートの接着面がロッドにつかないように、別売の配線チューブでロッドを覆います。

ワイヤータイプの場合 ワイヤーが太くすぎ間ができる場合は、サービスホールの開口部でワイヤーを痛つけないよう、付属の防音テープをサービスホールとの境に巻き付けます。

2 インナーパネルにインナーパネル用制振シートを貼り付ける

POINT 可動部の処理に注意。ロッドなどの可動部に制振シートの粘着面が干渉すると、可動部の動きを妨げます。可動部に粘着面が干渉する場合は、制振シートを可動部より小さくカットし、粘着面同士を合わせて貼り付けて粘着面が干渉しないようにしてください。

1 付属のサービスホール型取りシートをマスキングテープなどで留めて、油性マジックで型取りをしてください。

POINT サービスホールより2~3cm程度大きく型を取ってください。

2 型取りしたシートとインナーパネル用制振シートを重ねて、制振シート圧着用ヘラなどでカットするラインを写してください。

POINT 助手席側には、型取りシートを反転させて利用してください。※運転席と助手席側でサービスホールの形状が異なる場合があります。

3 型取りした制振シートをカットしサービスホールに貼り付けて、制振シート圧着用ヘラで空気残りが浮きがないようにしっかりと圧着してください。

3 防音テープを貼り付ける

1 音漏れ防止のため、ドアレバーワイヤーやハーネスなどの出口、インナーパネルと内張りが干渉する箇所に付属の防音テープをカットして貼り付けてください。

4 スピーカーを固定して、スピーカー用防音テープを貼り付ける

1 コネクターを接続してからスピーカーを戻し、固定してください。

2 スピーカーのフレーム部分に沿って、スピーカー用防音テープを貼り付けます。余った部分はハサミなどでカットしてください。

貼り付けOK部分 スピーカー正面図。スピーカーフレーム部分。スピーカーの可動部分(振動板・エッジ部)には絶対に貼らないでください。

貼り付けNG部分 スピーカー正面図。可動部分には絶対に貼らないでください。

Step4 仕上げ

- 1 ポイント制振材を貼り付ける
- 2 内張りを戻す

1 ポイント制振材を貼り付け、効果を確認する

1 付属のオリジナルチェックCDのトラック3を再生します。最初に「B-1」という基準信号が再生されますので、音がゆがまない程度で大きめのボリュームに調整してください。

2 デッドニング効果の確認用テスト信号(トラック4~6)を再生し、振動の大きな箇所にポイント制振材を貼り付けてください。

POINT ●トラック4は共振しやすい低音信号です。各部品やハーネス出口のビビっている箇所にポイント制振材を貼り付けてください。●トラック5は振動の大きな低音信号です。施工面全体を手で触り、振動の大きな箇所にポイント制振材を貼り付けてください。●トラック6は低音から高音までの連続音です。ドアを閉めて再生し、ビビリやノイズの出ている箇所にポイント制振材を貼り付けてください。

注意 ●図でビビりや大きな振動の強弱が確認しにくい場合は、スピーカー周辺に貼り付けてください。●異なるインナーパネルの形状によっては振動がおさまらず、ビビりがなくなる場合もあります。

オリジナルチェックCD使用手順

スピーカーを取り付け、内張りを戻す前の状態でドアを開けてチェックCDを再生します。音の確認は片側ずつおこないますので、インナーパネルの正面で施工面全体を確認してください。左右のドアで同じ作業をおこないます。

●チェックCDの再生時、まず音量調整をおこないます。必ずトラック1から再生し、スピーカーの音がゆがまない音量で使用してください。スピーカーの音が遠んだ状態で再生を続けると機器の破損につながりますので注意してください。●ボリュームの上げすぎによるスピーカーの損傷については当社は一切責任を負いません。●トラック4~6は再生しながらゆっくりボリュームを上げて、スピーカーの音がゆがまない範囲で、再生可能なできるだけ大きなボリュームに調整してください。●トラック7以降のテスト音源は音質チェックや接続チェックなどに使用できます。

トラック内容		解説・用途説明
トラック1	オープニング	0:38
トラック3	基準信号 1kHz (-10dB)	0:25
トラック4	デッドニング効果確認信号	2:05
トラック5	デッドニング効果確認信号	2:06
トラック6	スイープ信号 20Hz~20kHz (-10dB)	1:02
トラック7	STYLE ドラムソロ	4:17
トラック8	HOROSCOPE ヒアノソ	4:07
トラック9	Moving now サクソ	3:02
トラック11	音楽用L+R (右)チャンネル	0:36
トラック12	音楽用R (右)チャンネル	0:36
トラック14	音楽用L+R (正相)	1:11
トラック17	音楽用L+R (正相)	0:50
トラック18	音楽用L+R (逆相)	1:11
トラック20	1kHz (-10dB) L+R	0:26
トラック21	20Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック22	25Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック23	31.5Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック24	40Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック25	50Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック26	63Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック27	80Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック28	100Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック29	125Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック30	160Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック31	200Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック32	250Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック33	315Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック34	400Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック35	500Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック36	630Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック37	800Hz (-10dB) L+R	0:26
トラック38	1kHz (-10dB) L+R	0:26
トラック39	1.25kHz (-10dB) L+R	0:26
トラック40	1.6kHz (-10dB) L+R	0:26
トラック41	2kHz (-10dB) L+R	0:26
トラック42	2.5kHz (-10dB) L+R	0:26
トラック43	3.15kHz (-10dB) L+R	0:26
トラック44	4kHz (-10dB) L+R	0:26
トラック45	5kHz (-10dB) L+R	0:26
トラック46	6.3kHz (-10dB) L+R	0:26
トラック47	8kHz (-10dB) L+R	0:26
トラック48	10kHz (-10dB) L+R	0:26
トラック49	12.5kHz (-10dB) L+R	0:26
トラック50	16kHz (-10dB) L+R	0:26
トラック51	20kHz (-10dB) L+R	0:26
トラック52	無音信号	2:42
トラック53	エンディング	0:38
トータル		41:46

2 内張りを取り付け、作業終了

- 1 開閉ワイヤー・カブラなどを正しく取り付け、内張りピンの位置をあわせて内張りに戻してください。
- 2 外したネジ・パネルなどを取り付けて下さい。
- 3 作業終了後、パワーウィンドウや電装品などの各機能が正常に動作するか確認してください。